

～鎌倉殿の13人～ 資料から読み解く「安達藤九郎盛長」と 「奥州安達」の関係

源頼朝が平家を滅ぼし、鎌倉幕府を開いた。

その時、功労のあった東国の豪族たちに領地を分け与え、全国に守護や地頭として配置した。松川の隣、安達郡を治めることになったのは頼朝の最側近であり、鎌倉殿を支えた13人の御家人の一人「安達藤九郎盛長」であった。

その後、奥州安達とどのような関わりがあったのだろうか、残された資料から読み解き、関係する史跡等を訪ねてみる。



安達盛長出家後の肖像
二本松市教育委員会提供

- ◆ 日 時 令和4年12月14日（水） 午後1時30分～3時
- ◆ 会 場 松川学習センター大会議室
- ◆ 対 象 誰でも参加できます
- ◆ 人 数 50名
- ◆ 参加料 無料
- ◆ 講 師 渡 邊 誠 斗 先生（二本松市教育委員会文化課）
- ◆ 主 催 松川町文化財保存会
- ◆ 共 催 松川学習センター
- ◆ 申込み 11月15日（火）から受付します。松川学習センターへ氏名・連絡先を直接又は電話等でお申込み下さい。（定員になり次第締め切ります。）
- ◆ お願い 新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用のほか、各自消毒、検温を行ない、当日の体調が良くないときは参加をご遠慮下さい。
- ◆ 問合せ及び申込先 福島市松川学習センター
TEL：024-567-2323 Fax：024-567-2403